



発行所
天理教網走大教会
布教部出版広報掛
〒093-0073
網走市北3条西6丁目
TEL 0152-43-2227
FAX 0152-44-2227

大教会長年頭挨拶

新年あけましておめでとございます。

昨年中は親神様・教祖より与えて頂く御用を通し、それぞれに繋がる教会へ誠真実の心を運び、精一杯おつとめ下さり誠に御苦労さまでした。網走大教会に繋がる皆様の大きなお力添えのお陰をもちまして、昨年の立教百八十五年も無事滞りなく終えさせて頂きましたこと心よりお礼申し上げます。

いよいよ教祖百四十年祭三年千日が1月26日より始まりました。大教会をはじめ各教会が昨年より準備を進めてまいりました。年祭活動1年目がスタートします。それぞれが決めた目標をしっかりと把握し、網走大教会が一丸となつて目標達成に向け、出来ることを一つ一つ地道に行い、精一杯つとめさせて頂きましょう。

本年もどうぞよろしくお願い致します。



立教百八十六年 正月
網走大教会長

三幣 健志



大教会十二月月次祭

大教会12月の月次祭は、12日午前9時30分から大教会長祭主のもと、執行された。

大教会長は祭文で、親神様の御守護に御礼申し上げた後、「真柱様より教祖百四十年祭をつとめさせて頂きたいとお言葉を頂戴し、年の中頃には両統領より、年祭の準備を今から始めてもらいたいとのご指示のもと、ごばの声を素直に受け、まずは道の先達にあたる教会長を中心に練り合いを開始し、諭達をご発布下さるとのことから、諭達を受ける心構えをつくらせて頂くこと、真柱様の御理について



神殿講話

澤田忠和 理事

神殿講話抜粋

去る10月秋の大祭に、真柱

様より諭達第四号をご発布頂きました。身上にもかかわらず自らご発布下さいました事、胸に熱く残っておりますと同時に、並々ならぬ親心を感じさせてもらいました。

自教会の参拝場に掲げてあります、諭達の額の中にこの

勉強させて頂き、諭達を頂戴し有難くも国内に先駆けて、いち早く本部巡教を受けさせて頂きました。その間、教祖百四十年祭三年千日へ向かうにあたり、心定めを始め、活動目標又、体制作りなど着々と準備をさせて頂きました。届かぬながらも皆がごばの声に耳を澄ませ、素直に実行させて頂きましたことは、全て親神様のお導きがあつてのことと、この年にお掛け下さいました親心に、重ねて厚くお礼申し上げます。」と奏上した。

その後座りつとめ・十二下りのてをどりが勤められ、参拝者は共に勇んでみかぐらうたを唱和した。

度々の諭達を入れさせて頂いたのですが、その時に二代真柱様の諭達第一号・第二号、三代真柱様の諭達第一号・第四号が入っており、四代真柱様の諭達第一号・第三号もありました。この機会に二代・三代真柱様の諭達を勉強させて頂こうと思ひ、何度か読ませて頂きました。

一貫して私が感じたのは、どの諭達も一口で申し上げると、「我々ようばく一人ひとりの成人を促しておられる」という事でありませう。ようばくの成人を求められている内容は、昔も現在もゆるぎない事があるのです。昭和43年10月25日三代真柱様の継承奉告祭にご発布下された諭達には、おふでさき第一号47〜50までのおうたを用いられております。やまさかやいばらぐるふもがけみちも つるぎのなかもとふりぬけたら (一―47) まだみへるひのなかもありふちなかも それをこしたらほそいみちあり (一―48) ほそみちをだんくこせばをふみちや これがたしかなほんみちである (一―49) このはなしほかの事でわな



大教会お鏡餅つき

12月28日、午前9時から、大教会長を芯に参拝し、お餅つきを開始した。

31日のお礼づとめ、元旦祭、正月三が日のお鏡餅の分を合わせて9臼つかせて頂き、その後、水餅やにいがけ先にお配りするお餅を少年会員が4臼を勇んでついた。

お昼ご飯には、つきたてのお餅を皆で頂いた。



詰所お鏡餅つき

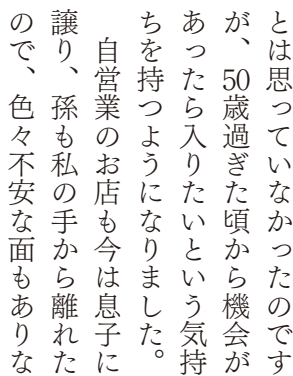
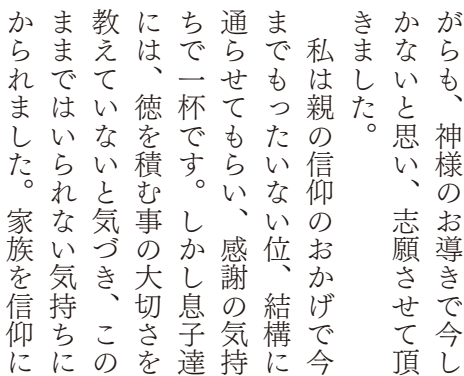
詰所では12月25日、本部元旦祭にお供えする鏡餅をつかせて頂いた。関西ようき会を中心に多くのひのきしん者が集まり、一年のお礼を込めて、一生懸命つかせて頂いた。



大教会 元旦祭

立教186年の元旦祭は寒さが厳しかったものの、よい天気の中、元旦の午前8時に執行された。

元旦祭では直轄信者、住み込みで今年初めの座りづとめ、十二下りのおつとめが勇んでつとめられ、教祖にも年始の挨拶をさせて頂き大教会長の挨拶を受け祭典を終えさせて頂いた。祭典終了後、集合写真を撮り、年始の言葉としておふでさきを頂戴し、食堂にてお節やお雑煮を頂き賑やかな元旦となった。



修養科志願の動機、また、修養科生活はどうでしたか？

天理高校を卒業すると免除という事で若い頃は修養科には思っていないなかつたのですが、50歳過ぎた頃から機会があったら入りたいたいという気持ちを持つようになりました。

自営業のお店も今は息子に譲り、孫も私の手から離れたので、色々不安な面もありながらも、神様のお導きで今しかないと思いい、志願させて頂きました。

私は親の信仰のおかげで今までもつたない位、結構に通らせてもらい、感謝の気持ち一杯です。しかし息子達には、徳を積む事の大切さを教えていないと気づき、このままではいられない気持ちから来ました。家族を信仰に

教会は、しばしば一つに心を寄せつとめをする神一条の精神に許されたものである。よふぼくの一人ひとりがその自覚に立って、たすけ一条の勤めに励むところには、事情の起る隙はない。煩わしい事情や身上は、これを忘れ、人間思案の我欲に負けて、ともすれば、一手一つの心が乱れる時に起こりがちである。」とお示し下されてあるからです。

では一手一つになるのはそんなに難しい事なのですか？ どうしたら一手一つになれるのでしょうか？ 私は皆がもう少しだけ、やさしい心と素直な心になれば一手一つになりやすいのではないかと思えます。ご神言であります。『勝手というものは、めんくにとつてはよいものなれど、皆の中にとつては治まる理にならん』(明治33年11月20日)とお聞かせ頂きます。来年から「年祭活動」こうしておけば良かった」と思う1年になるのか「こうしておいて良かった」と言える1年にするのか、お互いに心を引き締め通らせて頂きましょう。

修養科を修了して

今までは、自分達中心の生活であったと反省し、これからはおぢばで学ばせて頂いた事を忘れず、神様中心の生活を心において過ごしたいと思えます。今の私の心定めは、

- ・朝夕のおつとめは時間を決めてつとめる。
- ・自教会の月次祭に毎月参拝させて頂く。

この二つを実行して、3年後に迎える、教祖百四十年祭に教祖にお喜び頂ける姿をお見せ出来るよう、日々勇んでつとめさせて頂きたいと思えます。

修養科を終えて

導けない自分を懺悔すると共に、今だ、修養科！と決心に至ったのであります。

修養科生活は、会長様はじめ、教養掛の先生、詰所の皆さんのあたたかい応援で、1日も休まず、楽しく勇んでつとめさせて頂きました。

又、修養科期間中に、真柱様より「論達第四号」のご発布を本部神殿で頂いた事は、生涯で初めてであり、感激致しました。もう一つは、「をびやづとめ」を参拝させて頂けた事が特に嬉しかったです。



陽光分教会所属 池田 いさ子 さん

いほとに 神一ぢよでこれわが事 (一—50)

と、神一条の道を進む者の心構えをお教え頂いています。神一条に進む時、親神様は必ず不思議なたすけをお見せ下される。蒔いた種なら句を見て必ず生やして下さい。とお示し下されております。我々お道を通る者の基本的な心構えであります。私は今の時代はどうなのかな？と考える時があります。今はあまりにも何もかもが結構になりすぎて、肝心な基本的な事に気づいていない事があるのではないのでしょうか。

若い時に四代会長様の三幣徳三郎会長様、また利恵奥様に教えて頂きました事が数々ございますが、その中には、今でも実行させて頂いていることがあります。それは、「月次祭のおつとめに出る時には必ず御供(ごく)を頂いて出るように」という教えであります。またある時にはこんな事がありました。「あなたはおつとめの時に拍手を4回打ちますね、そしてご祈念する時に一番先に何を祈念しますか？」と問われたことがあ

ります。私はえつと思いがらも、身上の方の事でしようか事情の方の事でしようか、という風にお答えさせて頂いたのですけれども、「それも勿論であるが、拍手を打っておつとめを始めさせて頂く前には、『只今よりお教え頂きました、よろづたすけのおつとめをおつとめさせて頂きまして、ありがとうございます』とご祈念して、通るようになさせても下さいました。口癖のように「おつくしは精一杯やった者にしかわからんよ」といつも励まして下さいました。私はおつくし・御供にソロバンをおいたら、結局身上・事情になり結果、果たさねばならなくなるように思うわけであり

話が変わりますが、なかなか治まりの見えないコロナの状況でございます。このことに思う事、また思い出す事があります。昔、世話人の松村義和先生が北海道の修理人として、道東方面の教会を巡教で回って来られて、釧路に来られました。もう40年位前だと思えますが、その時に先生にこんな質問をしたのです。「各教会おつとめの手を揃えましょうと言いますが、どうしても16人の手を揃えなければならぬのですか？」と先生にお尋ねしたことがあります。先生は「はい」と言われまして、どうしてなのでしょうか？とさらに聞き出すと、松村先生は「この世の中この先どんな世の中になっていくかわかりません。もしこの先大変な事が起こってくるかわかりませんので、その時に世界中の教会が同じ時間にお願いをしなければならぬ時が来るかもしれないと思いたすか？」というふうにお答え下さいました。今考えれば、何とスケールの大きな事であ

しょう。まさにつとめ一条でみなたすかるで、とお教え頂いておりますので、私はこのコロナの中で全教会が16人の手を揃え、今世界中の教会が同じ時刻におつとめを始めたから、コロナなど一ぺんに治まってしまおうのではないかと感じるわけがあります。

さていよいよ来年から三年千日の年祭活動が始まります。「教祖のひながたを目標に全教会心定め達成」が活動方針でございます。大教会が一手一つになり進んで行かなければなりません。しかし私は今の大会に一番欠けているのは、この一手一つだと感じています。思い返しますと、10年前の時には大きな事情の最中でありました。真柱様はじめ前真柱様、世話人先生など、多くの方々が多様なご心配をお掛けしたことを忘れてはならないと思えます。年祭活動、それは何が起こって来くるかわからない三年千日であります。私も理事という立場で、出来るだけ協力をさせて頂いて頂く思いであります。平成5年、教祖百十年祭の時の論達第四号では、『そもそも、

教会は、しばしば一つに心を寄せつとめをする神一条の精神に許されたものである。よふぼくの一人ひとりがその自覚に立って、たすけ一条の勤めに励むところには、事情の起る隙はない。煩わしい事情や身上は、これを忘れ、人間思案の我欲に負けて、ともすれば、一手一つの心が乱れる時に起こりがちである。」とお示し下されてあるからです。

では一手一つになるのはそんなに難しい事なのですか？ どうしたら一手一つになれるのでしょうか？ 私は皆がもう少しだけ、やさしい心と素直な心になれば一手一つになりやすいのではないかと思えます。ご神言であります。『勝手というものは、めんくにとつてはよいものなれど、皆の中にとつては治まる理にならん』(明治33年11月20日)とお聞かせ頂きます。来年から「年祭活動」こうしておけば良かった」と思う1年になるのか「こうしておいて良かった」と言える1年にするのか、お互いに心を引き締め通らせて頂きましょう。

教会は、しばしば一つに心を寄せつとめをする神一条の精神に許されたものである。よふぼくの一人ひとりがその自覚に立って、たすけ一条の勤めに励むところには、事情の起る隙はない。煩わしい事情や身上は、これを忘れ、人間思案の我欲に負けて、ともすれば、一手一つの心が乱れる時に起こりがちである。」とお示し下されてあるからです。

では一手一つになるのはそんなに難しい事なのですか？ どうしたら一手一つになれるのでしょうか？ 私は皆がもう少しだけ、やさしい心と素直な心になれば一手一つになりやすいのではないかと思えます。ご神言であります。『勝手というものは、めんくにとつてはよいものなれど、皆の中にとつては治まる理にならん』(明治33年11月20日)とお聞かせ頂きます。来年から「年祭活動」こうしておけば良かった」と思う1年になるのか「こうしておいて良かった」と言える1年にするのか、お互いに心を引き締め通らせて頂きましょう。

動 静

◎出 直

▼實東分教会役員・実藤布教所長・藤本博様は11月18日出直された。享年79歳。

◎年 祭

▼直轄所属・鈴木幹子の霊様の10年祭が12月22日、網走市の自宅にて瀬川定自・直轄世話人祭主のもと執行された。

▼實東分教会二代会長・森齋の霊様の30年祭は11月22日、實東分教会にて實東分教会長祭主のもと執行された。

12月人の「守護

○初席者 (4名)

東 網 長谷川 輝心
誠 網 木 沢 雅史

○中席者 (2名)

誠 網 木 沢 裕実

○三日講習会受講者 (3名)

女 満 別 三 幣 美代子
實 東 吉 田 智子
誠 網 佐々木 幸

育英会寄付者

「教祖のひながたを目標に
全教会心定めの達成」

教祖140年祭
年祭の活動方針

大教会12月の動き

斜里町分教会 創立百周年
實東分教会 二代会長30年祭

1日 直轄世話人会
2日 役員会議

3日 みそか会

4日 縦の伝道日

7日 お話し会

9日 網走支部例会会場

10日 役員会議

11日 布教部例会

12日 月次祭。役員会議
連絡会。教会長夫妻
練り合い

13日 修養科事前研修会模
擬演習

16日 会長、直轄信者まわ
り(18日まで)

17日 支部婦人会例会会場

18日 縦の伝道日

19日 会長、年末信者回り
(21日まで)

22日 会長、おぢばがえり

23日 詰所23会

24日 会長、本部神殿奉仕
つとめる

25日 五季御礼。会長、本
部災救隊会議出席。
詰所お鏡餅つき。縦

修養科志願者
事前研修会

今年から、おぢばで修養科を志願される方、また将来的に修養科を希望される方に、網走大教会を会場に2泊3日で事前研修会をさせて頂くことになりました。

大教会への参拝はもちろん、基本的な教理や修養科とは？といったような講義や、練り合い、また、ひのきしんなどもさせて頂く予定です。詳細は昨年12月号に掲載されておりますので、ご覧になって頂き、ご不明な点は各教会にお尋ね下さい。

- 26日 の伝道日
本部月次祭遙拝。結城和広役員、本部神殿奉仕つとめる
- 27日 細木善信役員、本部神殿奉仕つとめる
- 28日 お鏡餅つき
- 30日 みそか会

守護の御人	
初席	中席
1月	
4席	5席
累計	
17席	60席

立教185(令和4)年人のご守護成果表 (12月末現在)

教会名	初席	中席	ようほく	三日講習	修卒	教人	婦参者	当	累計	教会名	初席	中席	ようほく	三日講習	修卒	教人	婦参者	当	累計
直轄	2	11	1				29	157	誠央	1							1	24	
美幌	1							3	常道	4	2						22	53	
女満別	1	1	1				3	45	徳満								2	22	
斜里町								2	網安									2	
釧厚								5	オホーツク									10	
武士			1		1			2	網徳									2	
常呂		2						28	栗沢									6	
旭網		1						16	徳元	10	1			1		4	35		
御料								8	網盛									3	
東藻								0	網新	1	1							13	
陽光					1			25	網葉									2	
呼人		1	1				2	19	網陽								7	13	
誠陽	1						2	16	網次	5	24	4	1	4	1	11	80		
網栄							2	27	網昇									11	
實東	3	6		2			1	8	網勇									12	
東網							1	13	詰所									1	11
宗稚																			3
初席	4	17							修卒										
中席		5	60						教人										
ようほく				9					婦参者										
三日講習							3	4	当										
成果									成果										
当	4	17							当										
成果									成果										
当									当										
成果									当										
当									当										
成果									当										
当									当										
成果									当										
当									当										
成果									当										
当									当										
成果									当										
当									当										
成果									当										
当									当										
成果									当										
当									当										
成果									当										
当									当										
成果									当										
当									当										
成果									当										
当									当										
成果									当										
当									当										
成果									当										
当									当										
成果									当										
当									当										
成果									当										
当									当										
成果									当										
当									当										
成果									当										
当									当										
成果									当										
当									当										
成果									当										
当									当										
成果									当										
当									当										
成果									当										
当									当										
成果									当										
当									当										
成果									当										
当									当										
成果									当										
当									当										
成果									当										
当									当										
成果									当										
当									当										
成果									当										
当									当										
成果									当										
当									当										
成果									当										
当									当										
成果									当										
当									当										
成果									当										
当									当										
成果									当										
当									当										
成果									当										
当									当										
成果									当										
当									当										
成果									当										
当									当										
成果									当										
当									当										
成果									当										
当									当										
成果									当										
当									当										
成果									当										
当									当										
成果									当										
当									当										
成果									当										
当									当										
成果									当										
当					</														